にぎやかな大浜・宮の森づくり実行委員会
（地域おこし団体）

大浜海岸・宮の森を中心に美波町を賑わいづくりと環境共生型の社会を目指します！

活動概要・SDGsに関する取り組み方針（考え方）

▶うみがめの森再生プロジェクト

町指定文化財「大楠」をはじめ、うみがめの森（宮の森）の木々の先端枯れの症状が著しく悪化。この森が自然のカーテンとなり住宅地の光から海亀を守っているとも云われており、海亀の上陸・産卵にも影響。約800年の樹齢といわれているこの木々を次世代へ残していきます。

・大浜及び宮の森のゴミ拾い等美化活動
・再生プロジェクトに今後必要となる稲わらや落ち葉を集める活動

これまでの取り組み

▶「日和佐八幡宮の市」

イベントを通じて美波町の食・歴史・文化で世代を超えて交流を図り地域を盛り上げていきます。

・宮の市マルシェで地域の美味い・楽しいを発信
・秋祭り”ちょうさ(太鼓屋台)”体験屋台『さぁーせぇーくん』でお祭りの楽しさを発信
・じゃんけん大会、お菓子投げで子どもたちにイベントの楽しさを発信

メッセージ

自然も人の暮らしも持続可能な、環境共生型の町づくりを進めます。

環境共生型、歴史文化共生型の地域づくり・社会づくりに取り組み、夢は大きく徳島はもとより日本を代表する共生型社会のあり方として認めていただけるように活動を行っていきます。これからの皆様のご協力をお願いいたします!!

今後に向けた取り組み

▶日和佐八幡宮の市の定期開催

定期的(年4回)に開催。来年リニューアルオープンが予定されている日和佐うみがめ博物館カレッタや、今年度中に開業予定の谷屋地ビールプロジェクト「日和佐ビール」などとコラボし、更に地域の楽しい・学び・美味いを発信していきます。

▶うみがめの森再生プロジェクトの本格的始動

全国各地で森や山、川辺の環境保全に取り組まれている『NPO法人地球守』様、町民の皆様、町内外の企業・団体・行政の皆様と一体となってうみがめの森の回復に取り組んでいきます。

第一弾として、大楠の保全活動を令和7年2月中旬から行います。誰でもが参加できるワークショップも合わせて開催します。

関連するゴール

【美波町からのお知らせ】 美波町 SDGs リビングラボポータルサイトについて

▶導入目的：美波 SDGs リビングラボを通じて地域活動を発信・共有することで、SDGs のワードのもとで皆さまが繋がれる場所になること目的としています。まずは皆さまの SDGs 宣言を登録をして、美波町とともに地域課題の解決や地域活動に参加し、お互いに協力し合いませんか。

▶利用方法：町民の方々や企業・団体様なら誰でも利用できます。
詳しくは右の QR コードから美波町 HP をご覧ください。
https://www.town.minami.lg.jp/docs/sdgs.html

野良猫のトラブル対策について

役場住民生活課☎ 0884-77-3613

このところ、役場に野良猫に関する次のような苦情が寄せられています。

▶敷地内でふん尿をしたり、ごみを荒らして困っている。
▶子猫を産んだので引き取って欲しい。
▶餌をやっている人がいる。

このように猫による被害で困っている人からは、捕獲して欲しいとの要望がありますが、「動物の愛護及び管理に関する法律」によって愛護動物に定められているため、捕獲し駆除することが出来ません。住民同士のトラブルにならないよう、次の事を実施してみてください。

【トラブル対策】

1. 置き餌をしない。他の地域の猫を呼び込んでしまったり、カラスや小動物等を集めることになります。
2. 不妊･去勢の手術の実施。猫は年に2回から4回、1回に4頭から8頭の子猫を産みます。かわいそうな猫が増えるのを防ぐために、不妊去勢手術をしてください。（1匹につき上限1万5千円の助成あり。）
3. 野良猫が敷地内に子猫を産んだ時は、触れたり餌をやったりしないで、そっと見守る。子猫がある程度育てば、親猫が他の場所に連れて出ていきます。いては困る場所に産んだ場合は、周辺に芳香剤をまくなどし、居心地を悪くして、親猫が他の場所に連れて行くように仕向けてください。役場等から保護しに行くことはありません。
4. トイレの設置。決まった場所で排泄する習慣があるので、餌やりの場所の近くにトイレを設置することで、近隣のふん尿の被害を減らすことが出来ます。
5. 猫の嫌がる忌避剤を置く。においや刺激性によって近づきにくくする方法です。においに慣れると効かなくなるので、時々種類を変えてください。
6. 猫が嫌がる物を設置。歩きにくくなり、侵入出来ないようになります。
7. 機器･装置の設置。ブザーや超音波等で追い払う方法です。

今回紹介した7つの方法を試してみてください。
みんなが住みやすい町にしましょう。

令和6年度防災教育プログラム「高台整備工事現地見学ツアーなど」について

UR都市機構（担当：山形、中川、山口）☎06-4799-1587

今年度も、美波町が「災害に強いまちづくり」として整備を進めております高台造成工事につきまして、URと連携し、現地見学ツアーなどを企画いたしました。

今まさに、整備が進む造成状況を見学いただくとともに、徳島大学の防災に役立つセミナーも受けられます。また今回は、EVジェネシス（株）の協力を受け、防災機能を有する次世代ソーラーEVモビリティーの試乗会も予定しております。「見る」「学ぶ」「体験する」をテーマとした「防災教育プログラム」を開催いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

●日時　：令和6年12月22日（日）　10:00～17:15
　　※時間は変更になる場合があります。
●対象者:美波町町民
●参加料:無料
●場所　：うみがめラボ（UR都市機構サテライトオフィス）など
　　美波町奥河内本村169
●講師　：「（仮）防災教育セミナー」
　　徳島大学　井若 和久 先生
●主催　：UR都市機構
●共催　：美波町
●協力　：徳島大学、EVジェネシス（株）